

厚生労働省科学研究補助金（障害者政策総合研究事業（精神障害分野））
「災害派遣精神医療チーム（DPAT）の機能強化に関する研究」
分担研究報告書

分担班研究課題名 「DPAT活動マニュアルの改訂」に関する研究

研究分担者 来住 由樹（岡山県精神科医療センター院長）

研究協力者 吉田 航（厚生労働省委託事業DPAT事務局）
辛島 昌秀（茨城県立こころの医療センター）
小見 めぐみ（厚生労働省委託事業DPAT事務局）
渡邊 暁洋（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科）
北川 航平（岡山県精神科医療センター 臨床研究部）
岸野 真由美（厚生労働省委託事業DPAT事務局）
石田 正人（神奈川県立精神医療センター）

研究要旨

平成 27 年 1 月に発出された DPAT 活動マニュアルの携行医薬品・医療資機材リストの改定案を検討した。平成 28 年熊本地震の DPAT の処方実態としては、全体の相談者の 1 割以下となっており、ほとんどが精神科薬であった。そのような実態や、近年災害時の薬剤物流ネットワークが発達していることや様々な医療救護班と連携した活動を行っている実績を踏まえ、現行のリストの見直しを行った。

本分担班の改定案としては、携行医薬品については身体科薬を中心に 74 薬剤を削除し、新たに 20 薬剤を追加した。また、各精神科医療機関における薬品・規格・剤形等の採用が異なっていることから、商品名についてはあくまで参考とし、一般名での記載とした。医療資機材については、切開縫合セットや胃管セットなどを中心に 60 機材を削除し、新たに 5 機材を追加した。現行のリストでは切開縫合や胃管等、平時の精神科病院における身体医療の提供水準を超えたものも含まれており、今回の改定はより平時の精神科医療機関で提供できる医療水準に沿った形となった。

A. 研究目的

平成 28 年熊本地震の DPAT 活動では多くの DPAT が DPAT 活動マニュアルを参照し、多くの携行医薬品や医療資機材を持参した。実際に熊本県で活動を行った DPAT からは「使用されない薬品が多いため、破棄をせざるを得なかった」「普段使用しない薬剤を準備しなければならず、労力と時間を要した」等の意見が挙がっていた。しかし、東日本大震災におけるこころのケアチームの処方を基に作成した DPAT 活動マニュアルの携行医薬品リストは、平成 27 年 1 月以来、改定は行われていない。そこで、熊本地震における DPAT の処方実態を把握した上で（研究 1）、現在の DPAT 活動を反映できるよう、DPAT 活動マニュアルの携行医薬品・医療資機材の見直しを行うことを目的とした（研究 2）。

【研究 1】

B. 研究方法

平成 28 年熊本地震において熊本県以外から派遣された DPAT が行った処方記録を Disaster Mental Health Information Support System（災害時精神保健医療情報システム；DMHIS）より抽出し、以下の

方法で分類した。尚、分類方法については現行の DPAT 活動マニュアルの作成と同様である。

- ・厚生労働省の「使用薬剤の薬価（薬価基準）に収載されている医薬品について」の薬価基準収載医薬品コード先頭 3 桁により、精神科薬（主に 112、113、117）、身体科薬に分類

- ・ただし、エチゾラム、クロチアゼパム、ベゲタミン A[®] は、催眠鎮静剤、抗不安剤に分類

- ・身体科薬に分類されるスルピリド 50mg も精神科薬に分類

（倫理面への配慮）

処方の情報については、DMHIS へ掲載される時点で匿名情報となっており、個人情報に当たらない。システム整備に係る研究については、倫理的課題はない。

C. 研究結果

相談対応延人数 2125 人のうち、「処方あり」は 165 人（7.7%）であった。この中から、処方概要（薬剤名等）が記載されていた 70 人の処方を分析対象としたところ、総処方数は 92 件であったが、薬剤名が不明であった 4 処方については除外した。分析対象であ

った88処方の内訳としては、精神科薬が77件、身体科薬が11件であった。精神科薬の内訳としては、抗不安薬・睡眠薬が87%、抗うつ薬が8%、抗精神薬が5%であった。身体科薬は全体の0.5%の処方にとどまったが、内訳としては抗生剤が3件、感冒薬が2件、NSAIDsが2件、湿布剤が2件、H2ブロッカーが1件、漢方薬が1件であった。

D. 考察

平成28年熊本地震における県外DPAT活動は約3か月に渡っていたが、DMHISSに挙げられていた処方数は相談者のうちの1割にも満たなかった。これは東日本大震災とは異なり、熊本県における精神科医療資源が平時から多く、1週間以降の診療機能が比較的維持されていたことも影響していると考えられる。また、身体科薬の処方については、他の医療救護班との連携が強まり、DPATに求められるのは精神科のチームとしてスペシャリティであることが考えられた。このように災害の状況によって必要な医薬品・資機材の量や内容が変わること、東日本大震災の時よりも他の医療救護班との連携が強化されていることを踏まえたリストへ変更する必要があることが示された。

【研究2】

B. 研究方法

平成27年1月に発出された現行のDPAT活動マニュアルの携行医薬品・医療資機材リストは、以下の手順を基に作成された。

- ・精神科薬：東日本大震災において心のケアチーム等が行った処方実績及び平成25年度DPAT研修アンケート調査に基づき作成
- ・身体科薬：JMAT携行医薬品リスト（成人基本セット）Ver.1.0を参考に作成
- ・蘇生・処置等薬剤：DMAT標準薬剤リストVer.2.0を参考に作成
- ・精神科注射薬：JMAT携行医薬品リスト（精神科セット）Ver.1.0を参考に作成
- ・標準医療機器・関連機材：DMAT標準医療機器・関連機材を参考に作成
- ・医療資機材：DMAT医療資機材を参考に作成

本研究では、本科学研究全体班会議にて策定した以下のコンセプトに基づき、先述した方法で作成された携行医薬品・医療資機材リストの見直しを行った。

- ① DPAT活動の処方や処置は繋ぎであり、根本治療は医療機関で行われること
- ② DMAT等の医療救護班との連携実績があり、連携した活動が想定されること
- ③ 災害時の薬剤物流ネットワークが発展していること
- ④ 準備時の費用、移動性も考慮すること

- ⑤ 急変対応、精神科救急対応が実施できること

併せて、日本精神神経学会、日本児童青年精神医学会、日本てんかん学会、日本災害医学会、日本医師会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会の関連学会・団体より助言を受けた。

C. 結果

携行医薬品については身体科薬を中心に74薬剤を削除し、新たに20薬剤を追加した（表1）。また各精神科医療機関における薬品・規格・剤形等の採用が異なっていることから、商品名についてはあくまで参考とし、一般名を記載した。

医療資機材については、切開縫合セットや胃管セットなどを中心に60機材を削除し、新たに5機材を追加した（表2）。医療資機材については、リストの妥当性を確認するため、DPATインストラクターが所属しているDPAT先遣隊を組織できる3病院（単科精神科病院）に確認を取った所、改定案の全ての機材を平時より使用しているとのことであった。

作成したDPAT活動マニュアルの携行医薬品・医療資機材リストの改定案については、作成後DPAT事務局に対し提言を行い、DPAT事務局は本研究の結果を踏まえ、平成31年3月22日にDPAT活動マニュアルの改訂を実施した。

D. 考察

現行のリストから、身体科のものを中心に、およそ半数近くの携行医薬品及び医療資機材を削除した改定案を作成した。DPATの整備以降の各災害においては、平時の医療と同様、精神科で対応できない身体的な問題を生じている場合、DMATをはじめとする医療救護班と連携を取りながら活動してきた。また現行のリストでは切開縫合や胃管等、平時の精神科病院における身体医療の提供水準を超えたものも含まれており、今回の改定はより平時の精神科医療機関で提供できる医療水準に沿った形となったと考えられる。

また各病院各関係学会・団体からも助言があったが、現在の薬剤に関する物流は発展しており、モバイルファーマシー等が活用され、比較的早期に薬剤物流が復旧する。災害救助法で活動を行うDPATが処方を続けることは被災地域の診療体制の復旧を妨げる可能性もあるため、基本的には被災地域の診療体制を妨げない、必要最小限の処方であれば問題ないと考えられる。

一方で、現在想定されている南海トラフ地震では大規模な精神科医療機関の被災も予想される。被害状況によっては、より多くの携行医薬品や医療資機材が求められる場合もあるため、リストはあくまで目安とし、災害の状況に応じて柔軟に対応していく必要があるだろう。

E. 結論

1. 平成28年熊本地震におけるD P A Tの処方数は相談者全体の1割に満たなかった。
2. 処方された薬のほとんどが精神科薬であり、精神科としてのスペシャリティが求められた。
3. 本研究で作成した携行医薬品・医療資機材リストは、より平時の精神科医療機関で提供できる医療水準に近い、実行可能なものとなった。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

表 1. 携行医薬品の新旧対照表

改定案				現行			
精神科薬				精神科薬			
分類	一般名	商品名 (例示：携行医薬品で選択)	錠数又は包数	分類	一般名 (主な商品名)	規格 (mg)	錠数または包数
抗不安薬	アルプラソラム錠0.4mg	ソラナックス	100	催眠鎮静剤, 抗不安剤	アルプラソラム (ソラナックス)	0.4	100
	クロチアゼパム錠5mg	リーゼ	100		エチゾラム (チバス)	0.5	200
	ジアゼパム錠5mg	ホリゾン	100		ジアゼパム (セルシン)	5	100
	ロラゼパム錠0.5mg	ルバックス	100		ソレクソル (アモバシ)	7.5	100
	エスゾピクロン錠1mg	ルネスタ	100		ソルピデム遷石炭酸塩 (マイスリー)	5	100
	スボレキサント錠1.5mg	ベルソムラ	100		フルニトラゼパム (ロヒプノール)	1	100
	ニトラゼパム錠5mg	ベンザリン	100		フロチソラム (レンドルミンD)	0.25	200
	プロチソラム口腔内崩壊錠0.25mg	レンドルミン	100		ロラゼパム (ワイハックス)	0.5	100
	カルバマゼパム錠1.0mg	テグレート	100		カルバマゼピン (テグレート)	200	100
	リボトリエール	リボトリエール	100		クロチアゼパム (リボトリエール)	0.5	100
抗てんかん薬 ※気分安定薬も含む	デバケンR	デバケンR	100	抗てんかん剤	ソニサミド (エクセグラ)	100	100
	アリピプラゾール錠1mg	アリピアチン	100		バルプロ酸ナトリウム (デバケン)	100	100
	フェノバルビタール錠30mg	フェノバル	100		バルプロ酸ナトリウム (デバケンR)	100	100
	レベチラセタム錠5.0mg	イーケブラ	100		フェニトイン (アレピアチン)	100	100
	炭酸リチウム錠1.0mg	リーマス	100		フェノバルビタール (フェノバル)	30	100
	ピペリデン塩酸塩錠1mg	アキネトン	100		ピペリデン塩酸塩 (アキネトン)	1	100
	アリピプラゾール錠6mg	エビリファイ	100		オランザピン (ジプレキササイデイス)	10	70
	オランザピン口腔内崩壊錠5mg	ゼロクサ	70		クエチアピンフマル酸塩 (ゼロクエル)	25	100
	クエチアピン錠2.5mg	ゼロクエル	100		クエチアピンフマル酸塩 (ゼロクエル)	100	100
	クロルプロマジン塩酸塩錠2.5mg	コントミン	100		クロルプロマジン塩酸塩 (ウインタミン)	25	100
抗精神病薬	ハロペリドール錠1.5mg	セレネース	100	抗精神病薬	スルピリド (ドグマチール)	50	100
	リスベリドン錠0.1%1mL	リスバスター	50		ソラペン (ロドピン)	50	100
	リスベリドン口腔内崩壊錠1mg	リスバスター	100		ハロペリドール (リント)	1.5	100
	リスベリドン錠0.1%1mL	リスバスター	100		リスベリドン (リスバスターI/O)	2	100
	レスタロ	レスタロ	100		リスベリドン (リスバスター内用液)	2	50
	レスタロ	レスタロ	100		レスベリドン (リスバスター)	1	50
	レスタロ	レスタロ	100		レボプロマジンマレイン酸塩 (ヒルナミン)	5	100
	レスタロ	レスタロ	100		トラソドン塩酸塩 (レスリン)	25	100
	レスタロ	レスタロ	100		ハロキセチン塩酸塩水化物 (レキシル)	10	100
	レスタロ	レスタロ	100		フルボキサミンマレイン酸塩 (リボックス)	25	100
抗うつ薬	レスタロ	レスタロ	100	抗うつ薬	ミアンセリン塩酸塩 (デトミド)	10	105
	レスタロ	レスタロ	100		ミルナシبران塩酸塩 (トレドミン)	25	100
	レスタロ	レスタロ	100		塩酸セルトラリン (ジェイソロフト)	25	100
	レスタロ	レスタロ	100		オランザピン (ジプレキササイデイス) 再掲	5	70
	レスタロ	レスタロ	100		炭酸リチウム (リーマス)	10	70
	レスタロ	レスタロ	100		炭酸リチウム (デバケン) 再掲	200	100
	レスタロ	レスタロ	100		バルプロ酸ナトリウム (デバケンR) 再掲	100	100
	レスタロ	レスタロ	100		バルプロ酸ナトリウム (デバケンR) 再掲	100	100
	レスタロ	レスタロ	100		アトモキセチン塩酸塩 (ストラテラ)	10	140
	レスタロ	レスタロ	100		トネバシル塩酸塩 (アリセプトD)	5	100
その他	クアンファラン塩酸塩錠1.5mg	インチエニブ	140	その他	アトモキセチン塩酸塩 (ストラテラ)	10	140
	抑肝散又は抑肝散顆粒半量		42		トネバシル塩酸塩 (アリセプトD)	5	100

※精神科内用薬は東日本大震災の空襲県における心のケアチーム等の発災1か月以内の処方表請を基に、JMAT携行医薬品リスト(成人基本セット) Ver.1.0で精神科薬に分類された薬剤および平成26年1月に実施した「DPATが携行する薬剤に関するアンケート調査」より、カルバマゼピン、フェニトイン・フェノバルビタール、炭酸リチウム、アトモキセチン塩酸塩、トネバシル塩酸塩を追加。

身体科薬リスト
内用薬

分類	一般名	商品名 (例示：採用医薬品で選択)	錠数または包数
解熱鎮痛消炎剤	アセトアミノフェン錠 2.0 0mg ロキソプロフェンN錠 6.0 0mg プロメタジン 1.3 5%等配合非ピリン系感冒剤 または ピロエー配合錠	カロナール ロキソニン P配合顆粒	100 100 100
総合感冒剤	プロメタジン 6.7 5mg 等配合非ピリン系感冒剤	プロメタジン	100
鎮痛剤	アムロジピン口腔内崩壊錠 2.5mg	アムロジピン	100
血管拡張剤	ニトログリセリン錠 5mg ニトログリセリン錠 126 タケプロン	ニトログリセリン錠 ニトログリセリン錠 タケプロン	100 126 100
利尿剤	フオシジル錠 1.5mg	フオシジル錠	100
消化性薬	レバミピド口腔内崩壊錠 1.0 0mg マクミット センゾノド錠 1.2 mg	レバミピド錠 マクミット センゾノド錠	100 100 100
消化器機能異常治療剤	メトクロプラミド錠 5mg	メトクロプラミド錠	100
混合ビタミン剤 (ビタミンA・ D 混合製剤を除く。)	ベンフォチアミン 2.5 mg (B1)・B6・B12 配合カプセル	ビタミン剤配合カプセル	100
アレルギー一性疾患治療剤	フェキソフェナジン 塩酸塩口腔内崩壊錠 6.0 mg	アレグラ	100

※薬名を考慮して発行

既インフルエンザウイルス剤 院内採用薬からインフルエンザ治療薬を除外

身体科薬リスト
内用薬

分類	一般名 (主な商品名)	数量	種別
解熱鎮痛消炎剤	アセトアミノフェン (カロナール)200mg)	200 錠	錠
総合感冒剤	ロキソプロフェンナトリウム水和物 (ロキソニン)60mg)	200 錠	錠
鎮痛剤	非ピリン系感冒剤 (ピロエー配合錠またはP配合顆粒)	200 錠/包	錠/包
鎮痛剤	ブチルスコプラミン塩化物 (ブスコパン)10mg)	100 錠	錠
鎮痛剤	ヘタヒスチンメシル酸塩 (メリスロン)錠6mg)	100 錠	錠
利尿剤	スピロノラクトン (アルダクトン)25mg)	100 錠	錠
利尿剤	フロセミド (ラシックス錠)20mg)	100 錠	錠
利尿剤	エナラプリルメレイン酸塩 (レズベース錠)5mg)	100 錠	錠
血圧降下剤	カルバジロール (アーチスト)10mg)	100 錠	錠
血管拡張剤	リトザルタン (テイオハ)40mg)	140 錠	錠
血管拡張剤	アムロジピンベシル酸塩 (アムロジピン)0.05mg)	100 錠	錠
鎮痛剤	朝敵イソソルピド (ニトロール)	100 錠	錠
去たん剤	デキストロメトリンファン臭化水素酸塩水和物 (メジコン)	100 錠	錠
気管支拡張剤	カルボシステイン (ムコダイン)250mg)	200 錠	錠
止咳剤、整腸剤	テオフィリン (テオドール)200mg)	100 錠	CAP
消化性薬	塩酸ロペラミド (ロヘミン)	200 錠	錠
消化性薬	難性乳糖腫またはピロエーS錠 (ピロエーミンR錠)	200 錠	錠
消化性薬	ファモチジン (ファスター-D)10mg)	200 錠	錠
消化性薬	ランソプラゾール (タケプロン)0.015mg)	200 錠	錠
鎮痛剤	レバミピド (ムコスタ)	200 錠	錠
下剤、整腸剤	酸化マグネシウム (マクミット)300mg)	300 錠	錠
その他の消化器薬	センゾノド (ブルゼニド)	100 錠	錠
甲状腺、副甲状腺ホルモン剤	メトクロプラミド (プリンペラン)	100 錠	錠
副腎ホルモン剤	レボチロキノンナトリウム水和物 (チラヂン)55.0ug又は25.0ug)	100 錠	錠
混合ビタミン剤 (ビタミンA・ D 混合製剤を除く。)	ブレドニソロン (ブレドニソロン)5mg)	100 錠	錠
止血剤	ベンフォチアミン・B6・B12 配合剤 (ビタミン剤配合カプセルB25)	200 CAP	CAP
血液凝固阻害剤	トラネキサム酸 (トランサミン)250mg)	200 錠	錠
血液凝固阻害剤	タピカトランエチキシラートメタンサルホン酸塩 (プラザキサ)75mg)	140 錠	錠
血液凝固阻害剤	ワルファリンカリウム (ワーファリン)1mg)	200 錠	錠
その他の血液・体液用薬	アスピリン (ハイアスピリン)	140 錠	錠
糖尿病用剤	チクロピジン塩酸塩 (リナルジン)	100 錠	錠
糖尿病用剤	グリメペリド (アマリール)1mg)	100 錠	錠
糖尿病用剤	ホグリボース (ハイスター)0.2)	100 錠	錠
糖尿病用剤	オロバタン塩酸塩 (アレロック)0.2錠5)	100 錠	錠
漢方製剤	葛根湯エキス (ツムラ)葛根湯エキス顆粒)	189 2.5g 包	錠
主としてグラム陽性・陰性菌に 作用するもの	アモキシシリン水和物・クラバン酸カリウム (オーゲマンチン配合錠250RS)	180 錠	錠
主としてグラム陽性菌、マイコ プラズマに作用するもの	セフトキシム (セフトン)100mg)	200 CAP	CAP
合成抗菌剤	アシスロマイシン水和物 (ジスロマック)250)	120 錠	錠
抗ウイルス剤	レボフロキサシン水和物 (クラビット)500mg)	100 錠	錠
抗ウイルス剤	オセルタミビルリン酸塩 (タミフル) ※季節を考慮	200 CAP	CAP
抗ウイルス剤	ハシラクトビル酸塩 (ハルトレックス)錠500)	42 錠	錠

精神科注射薬リスト

分類	一般名	商品名 (例示：其相医薬品で選択)	アンプル数
抗てんかん薬	ジアゼパム注射液 1.0 mg	セルシン注射液 1.0 mg	10
	レベチプラタム注射液 5.0 mg	イクケプラタム注射液 5.0 mg	6
抗パーキンソン薬	乳酸ゼベリデン注射液 5 mg	アキネトン注射液 5 mg	10
抗精神薬	オランザピン過剰性副作用剤 1.0 mg	ジブレキチ筋注用 1.0 mg	3
	ハロペリドール注射液 5 mg	セルネース注 5 mg	10
呼吸促進剤	フルマゼコル注射液 0.5 mg	アネキセート注射液 0.5 mg	5

精神科注射薬リスト

分類	一般名 (主な商品名)	規格 (mg)	アンプル数
催眠鎮静剤、抗不安剤	ジアゼパム (セルシン注射液)	10	10
	フェノピタール (フェノピタル注射液)	100	10
	フルニトラゼラム (ロピノール静注用)	2	10
抗パーキンソン剤	乳酸ゼベリデン (アキネトン注射液)	5	10
精神神経用剤	オランザピン (ジブレキチ筋注用)	10	10
	ハロペリドール (セルネース注)	5	10
	レボプロマジン塩酸塩 (ヒルナミン筋注)	25	10
呼吸促進剤	フルマゼコル (アネキセート注射液)	0.5	10

※精神科注射薬は、JMATT発行医薬品リスト (精神科セット) Ver1.0を基に、フルニトラゼラム、リスベリドール、フルマゼコルを追加。

表 2. 医療資機材の新旧対照表

改定案		現行	
標準医療機器・関連機材リスト			
体外式自動除細動器 (AED)	数量	医療機器・機材	数量
移動用モニター (付属品含む) (※1)	1	体外式自動除細動器 (AED)	1
モニター用充電コード	1	移動用モニター (付属品含む) (※1)	1
モニター用予備バッテリー	1	モニター用充電コード	1
酸素ボンベ	1	モニター用予備バッテリー	1
減圧弁・流量計付	1	バックボード	1
簡易点滴台	1	バックボード用ストラップ	1
ターポリン担架	適宜	固定用結束バンド (※2)	1
SpO2モニター	1	酸素ボンベ	1
血圧計	2	減圧弁・流量計付	1
モニター用電池	適宜	簡易点滴台	1
心電図モニター用電極 (シール)	3セット	毛布	適宜
体温計	1	ターポリン担架	1

※1 モニター、AEDについては、長時間バッテリー駆動が可能なものが望ましい

※2 バックボードへの資機材固定用バンド (結束バンド; インジューロック) は以下のものを推奨するが、これに準ずるものであれば可能

メーカー	OHM (オーム) 電機
名称	幅広ロックタイ
	370mm 50本入り 結束内径102mm 引張強度54.4kg 幅7.6mm

※標準医療機器・関連機材はDMAT標準医療機器・関連機材を基に、DPAT活動において必要性が低いものを除く。

医療資機材リスト

医療管理セット	数量	その他の診療用品	数量
呼吸チューブ 6/7/8	各2	リザーバー付きマスク	3
酸素延長チューブ (ハイドロロックでも可)	2	酸素延長チューブ	3
カブ用シリンジ 10cc	2	酸素延長チューブコネクタ	3
吸引器	1	酸素カヌー	3
プレート 2/4	各2	手袋 (箱)	適宜
スタイレット	2	吸引器	2
固定用テープ	適宜	ペンライト	1
喉頭鏡用電池	適宜	はさみ	1
吸引カテーテル 10.12.14	各2	注射用シリンジ5ml	5
経工エアウェイ 6.7.8	各2	注射用シリンジ50ml	2
バックバルブマスク	2	18G注射針	30
吸引器	1	23G注射針	10
静脈留置セット	数量	スワブスティック (ホビトシード)	10
静脈留置針 20/22/24G	各3	スワブスティック (ハキシタン)	10
麻酔帯	3	アルコール綿	1箱
アルコール綿	1箱	ノンアルコール綿	適宜
三方送付延長チューブ	3	下敷き	5
固定用透明フィルム	6	4つ折ガーゼ (滅菌)	5
固定用絆創膏	6	8つ折ガーゼ (滅菌)	5
点滴回路 (成人/小児)	各3	速乾性手指消毒剤	1
		三角巾	3
		弾性包帯4号	5
		平オムツ	2
		ゴミ袋	1袋
		血糖測定器	1
		血糖測定用テープ	10本
		穿刺針	10本
		トリアージタック	20
		兼袋	100
		災害診療記録	50
		医療輸送カルテ	50
		精神科病院入院患者搬送一覧表	10

(季節を考慮して搬行)

インフルエンザ検査キット

医療資機材リスト

呼吸管理セット 3セット	数量	1セット	1セット
呼吸チューブ 6/7/8	各1	喉鏡	
カブ用シリンジ 20cc	1	プレート 2/3/4	各1
酸素チューブホルダー	1	スタイレット	2
		マスクホルダー	1
静脈留置セット 3セット	数量	吸引器	2
静脈留置針 18/20/22G	各1	アルコール綿	2
麻酔帯	1	カブ用シリンジ20ml	1
アルコール綿	3	ハイドロロック	3
点滴回路 (輸液ポンプ)	各1	固定用テープ	適宜
三方送付延長チューブ	1	電池	適宜
固定用透明フィルム	1	ゼリー	1
固定用絆創膏	2	リザーバー付きマスク	3
輸液 (生理食塩水) option	1	酸素延長チューブ	3
		酸素延長チューブコネクタ	3
中間検査セット 1セット	数量	フィルター	2
ペアン (曲) : 2	各3	吸引カテーテル 6.10.12.14.16	各3
コッヘル (曲) : 2	各1	経工エアウェイ 6.7.8	各1
モスチートスポン (曲) : 2	2	バックバルブマスク	2
クーバー型短針 : 1	1	SpO2モニター	1
持針器 : 1	2	血圧計	2
有線指子 : 1	適宜	モニター用電池	適宜
無線指子 : 1	3セット	心電図モニター用巻膜 (シール)	3セット
筋刺1A・1	適宜	手袋 (箱)	適宜
ソノテ : 1	1	吸引器	1
針 角2/3/5 : 各1	2	聴診器	2
滅菌手袋 5.5/6/7/7.5	各1	ペンライト	1
消毒用綿球、拭子	各1	体温計	1
フェイスボクス No.11.10	各1	はさみ	1
穴あきドレーブ	1箱	サージカルマスク	1箱
カーゼ 八つ折 (20)	5	固定用絆創膏	5
カーゼ 四つ折 (20)	3	ポンプ用輸液セット	3
スキンスティープラー	1	成人用輸液セット	3
針付ナイロン線糸 3.0	2	小児用輸液セット	3
		三活付延長チューブ	3
胃管セット 3セット	数量	注射用シリンジ5ml	3
胃管 14/16/18F	各1	注射用シリンジ2.5ml	5
胃管用三方送付	1	注射用シリンジ5ml	5
消毒液/バック	1	注射用シリンジ10ml	5
キシロカンゼリー	1	注射用シリンジ20ml	5
吸引用シリンジ	1	注射用シリンジ50ml	3
固定用絆創膏	1	18G注射針	30
		23G注射針	10

※DPAT医療資機材は、DMAT医療資機材を基に作成。DPAT活動において必要性が低いものは除外。
※効力する際、薬の説明書も手渡すことが望ましい。